

Page 36 - Chapter 2

Sentence 1

你不需要强调他是你的朋友。但外人用非正式的“你”，会得到暗示不应该这样称呼你。
その人が友人だと強調する必要はない。しかし部外者が「君」を使うと、そのような呼び方はすべきではないというヒントを受け取った。

Sentence 2

把电脑收起来，别炫耀！
「コンピューターをしまって、見せびらかさないで！」

Sentence 3

杜罗夫看着监督员的眼睛，用钢铁般的声音说：“闭嘴，蠢货，我们学了五年，你却在打扰我们，你这个自卑的山羊。”

ドゥーロフは監督者の目を見つめ、鋼のような声で言った：「黙れ、馬鹿、俺たちは 年間勉強してきたのに、お前が邪魔している、コンプレックス持ちのヤギめ」

Sentence 4

佩列科普斯基急忙补充了一些更礼貌的话，但为时已晚。研究生愤怒地踩着高跟鞋走进院长办公室。考得很好的同伴们被打了不及格。

ペレコプスキーはもっと丁寧なことを付け加えようと急いだが、電車は行ってしまった。大学院生は激怒してヒールを鳴らして学部長室に行った。優秀だった仲間たちは不合格を食らった。

Sentence 5

他们冷静下来，怀着复仇的渴望，坐在自助餐厅里，草拟了调查计划。她是谁。院长办公室立场的弱点是什么。

復讐への渴望で冷えながら、彼らはビュッフェに座り、調査計画をスケッチした。彼女は誰か。学部長室の立場の弱点は何か。

Sentence 6

他们在论坛上撒网。好心人告诉他们往哪里挖
付费部门的笨蛋，偷偷给他们答案。

彼らはフォーラムに釣り糸を垂らした。善意の人々がどこを掘るべきか示唆した
何人かを経由して、彼らは試験中に大学院生が有料部門の馬鹿者たちにこっそり答えを滑り込ませて助ける
はずだったという知識にたどり着いた。

Sentence 7

黑手党成员来到系里，提出了反驳指控的反指控。在一个词对词的情况下，一方是受人尊敬的系主任的儿子，学院退缩了。

マフィオージたちは学科に現れ、告発に対して告発を提出した。言葉が言葉にぶつかり、一方が尊敬される学科長の息子であるという状況で、学部は後退した。

Sentence 8

这些厚脸皮的人获得了客观的成绩，而他们的敌人被严厉斥责。

厚かましい者たちは客観的な成績を得て、彼らの敵は厳しい叱責を受けた。

Sentence 9

我不为自己的行为感到羞耻，因为如果有什么事件的话，我早就把它们从记忆中清除了，杜罗夫后来不屑地说。

「自分の行動に恥を感じない、なぜならエピソードがあったとしても、とっくに記憶から捨てたから」とドゥーロフは後に片付けた。

Sentence 10

当我问院长关于这场冲突时，博格达诺夫含糊而华丽地暗示，杜罗夫当然是个粗人，但研究生也不是无辜的。

私が学部長に紛争について尋ねると、ボグダノフは回りくどく装飾的に、しかしドゥーロフは確かに無礼者だが、大学院生も罪がないわけではないとほのめかした。

Sentence 11

院长更关心另一个话题。他花了足足半个小时谈论他认为是
原型的发明。
学部長は別のトピックにより関心があった。たっぷり 分、彼は自分が
の
原型だと考える発明について話した。

Sentence 12

这是一个巨大的折叠圣像， 米的石膏底，世界上最大的，有 张脸。博格达诺夫把他所有朋友的照片、他读过的书的作者，似乎还有电影明星，以及圣人的面孔都粘在了上面。
それは巨大な折りたたみ聖像だった、「レフカス メートル、世界最大、 の顔」。ボグダノフはそこに全ての友人の写真、読んだ本の著者、そしておそらく映画俳優、また聖人の顔を貼り付けた。

Sentence 13

这个想法是，每个人的存在都由许多其他人组成，博格达诺夫宣称。 朋友、敌人、英雄、我还会遇到的人、我读过的人 我可以把这扩展到全人类。

「アイデアは、各個人の存在は多くの他者で構成されているということだ」とボグダノフは述べた。「友人、敵、英雄、まだ会う人々、読んだ人々　そして私はこれを人類にまで拡大できる。

Sentence 14

我甚至在折叠圣像前晕倒过　　我怎么能知道这一切？
私は折りたたみ聖像の前で意識を失ったことさえある　　どうやってこれを全て知ることができたのか？」

Sentence 15

在他柜子架子的深处，闪烁着学生节日照片的相框　　博格达诺夫穿着紧身上衣，骑着驴，在热气球上。
彼のキャビネットの棚の奥には、学生の祝日の写真が入った額が輝いていた　　ダブルットを着たボグダノフ、ロバに乗って、熱気球に乗って。

Sentence 16

帕沙 杜罗夫做了一件更有意义的事，他继续说，用铅笔敲着桌子。 论坛，然后是
这是一种集体存在的形式，它不仅允许你站在一件艺术品旁边感受它，而且可以与

对你有意义的人生活在同一个空间里。

「パシヤ・ドゥーロフはずっと重要なことをした」と彼は続け、鉛筆でテーブルを叩いた。「フォーラム、そして これは集団的存在の形式であり、アーティファクトの隣に立ってそれを感じるだけでなく、自分にとって意味のある人々と同じ空間に住むことを可能にする。」

Sentence 17

帕沙以一种我无法企及的方式体现了我一生的想法。他把它变成了大量人可以使用的工具。

パシヤは私には手の届かない方法で私の生涯のアイデアを表現した。そして彼はそれを膨大な数の人々にとって利用可能なツールにした」

Sentence 18

杜罗夫从未来领取他的大学文凭。花时间处理行政繁琐手续让他反感。

ドゥーロフは大学の卒業証書を取りに来なかった。行政的な煩雑な手続きに時間を費やす必要性が彼を嫌悪させた。

Sentence 19

不是他害怕与官僚机构接触 只是，完成学业后，杜罗夫最终将让他兴奋的事情和不让他兴奋的事情分开了。

官僚制度に接触することを恐れていたわけではない ただ、学業を終えて、ドゥーロフは彼を興奮させるものとさせないものを最終的に分離した。

Sentence 20

佩列科普斯基挑衅道：打赌一年后你不会有100万美元，但我会有的。杜罗夫听到了这个问题，但把它留在了意识的边缘某处。

ペレコプスキーはからかった：賭けよう、　年後に君は　　万ドル持っていないだろう、でも僕は持ってる。ドゥーロフはその問い合わせたが、意識の周辺のどこかに置いた。

Sentence 21

他的思绪被互联网渗透给世界带来的变化所占据。到目前为止它们还没有大规模。例如，维基百科都是极客，但很明显，在那里写文章、编辑、争论的人　　他们都在以某种方式学习协商，并基于社区注意到的行动而非口号和宣言来建立权威。

彼の思考はインターネットの浸透によって世界に起きている変化で占められていた。今のところ大規模ではない。例えば、ウィキペディアはギークだらけだが、そこで記事を書き、編集し、議論する人々　　彼らはみな、何らかの形で交渉することを学び、スローガンや宣言ではなく、コミュニティに注目された行動に基づいて権威を形成している。

Sentence 22

维基经济学中的关键词是 分享 。通过丰富环境，你让自己更强大，为自己的未来工作。
ウィキノミクスのキーワードは「共有」だ。環境を豊かにすることで、自分自身を強くし、自分の将来のために働く。

Sentence 23

杜罗夫喜欢观察他创建的交流环境如何自己生存，但他明白 论坛 这个协作工具正在过时。人们
交换信息方式的下一步进化是什么？他审视了各种
ドゥーロフは、自分が作ったコミュニケーション環境が独自に生きているのを見るのが好きだったが、コラボレーションツール「フォーラム」が時代遅れになりつつあることを理解していた。
人々が情報を交換する方法の次の進化のステップは何だろうか？彼は様々な

Translator Notes

- Page 36 ends Chapter 2 with the exam confrontation resolution and reflections
- Levkas - gesso/ground layer used in icon painting, here referring to a folding icon
- Dean Bogdanov's folding icon concept parallels social network ideas
- Durov never picked up his diploma - reflecting his disregard for bureaucracy
- Wikinomics - term from book by Don Tapscott about collaborative economy
- Wikipedia as example of community-based authority building
- The million dollar bet foreshadows the future VKontakte success
- Page ends mid-sentence, continues on page 37